

地域医療構想に関するアンケート「2025年に向けた対応方針アンケート」

集計結果（和歌山保健医療圏構想区域）

資料4

実施期間：令和4年4月～5月
 対象医療機関：一般病床又は療養病床を有する医療機関（刑事施設等の中に設けられた医療機関は除く） 68医療機関
 回答数：67医療機関

No.1 各医療機関が目指す今後の役割・方向性

- 【A】救急拠点型（重症患者の救急受入れ、高度・専門医療など）
 【B】救急拠点型（年間100件以上の入院を要する救急患者受入れ）
 【C】地域密着型（軽症患者の救急受入れ、急性期病院からの転院受入れ、在宅復帰へ向けた医療など）
 【D】療養病床を有する医療機関
 【E】特殊な医療機能に特化した医療機関（産科、精神科、障害者医療など）

今後の 役割・方向性	医療機関名	<参考> 病床数（2021年7月1日現在）					
		高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
【A】救急拠点型	1 和歌山県立医科大学附属病院	610	150				760
	2 日本赤十字社和歌山医療センター	678	86			101	865
	3 和歌山労災病院	6	297				303
	4 堀口記念病院		90	60			150
【B】救急拠点型	1 済生会 和歌山病院		160	40			200
	2 中江病院		85	107			192
	3 誠佑記念病院		80				80
	4 須佐病院		93				93
	5 橋本病院		60	58			118
	6 古梅記念病院		110				110
	7 角谷整形外科病院		70				70
	8 海南医療センター	8	142				150
	9 恵友病院		50				50
	10 辻秀輝整形外科		19				19
	11 辻整形外科		19				19
【C】地域密着型	1 和歌山生協病院		106	43			149
	2 中谷病院			160	35		195
	3 今村病院		28	24			52
	4 和歌浦中央病院		50	54	58		162
	5 宇都宮病院			37	43		80
	6 上山病院			26	30		56
	7 河西田村病院		32	27	40		99
	8 伏虎リハビリテーション病院			36	53		89
	9 嶋病院		57				57
	10 高山病院		50				50
	11 琴の浦リハビリテーションセンター付属病院			108			108
	12 西和歌山病院			60	60		120
	13 稲田病院		30		42		72
	14 角谷リハビリテーション病院			60			60
	15 児玉病院			44			44
	16 国保野上厚生総合病院		43	57	54		154
	17 石本病院		26		27		53
	18 月山チャイルドケアクリニック		12				12
	19 きのしたクリニック			19			19
	20 綿貫整形外科		19				19
	21 今福診療所				10		10
	22 綿貫第二クリニック		14				14
	23 宇治田循環器科内科			19			19
	24 黒田医院				19		19
	25 星野クリニック			14			14
	26 前田外科					19	19
	27 青木整形外科					11	11
	28 西本内科外科医院				19		19

今後の 役割・方向性	医療機関名	<参考> 病床数（2021年7月1日現在）					
		高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
【D】療養病床を有する	1 向井病院				70		70
	2 藤民病院				100		100
	3 浜病院				115		115
	4 瀬藤病院				20		20
	5 半羽胃腸病院				51		51
	6 谷口病院				43		43
	7 笠松病院				47		47
	8 紀伊クリニック				19		19
【E】特殊な医療機能	1 福外科病院		54				54
	2 愛徳医療福祉センター				60		60
	3 紀泉K Dクリニック			19			19
	4 粉川レディスクリニック		11				11
	5 花山ママクリニック		19				19
	6 はまだ産婦人科		9				9
	7 稲田クリニック		19				19
	8 医療法人裕紫会 オリオン				19		19
	9 こうざき産婦人科		3				3
	10 岩橋産科婦人科		11				11
	11 タナカ眼科					4	4
	12 眼科松本クリニック					5	5
	13 しこねクリニック		4				4
(選択なし)	1 かわばた産婦人科					8	8
	2 塩崎医院					4	4
	3 吹上クリニック					4	4
(回答なし)	向陽病院		102		48		150
	和歌山圏域 計	1,302	2,210	1,072	1,082	156	5,822

【出典】病床数は令和3年度病床機能報告より。一般病床・療養病床のみ。

No.2 2025年の病床機能と病床数の見込み

医療機能	2021年 (病床機能報告)	2025年 見込	2025年 (地域医療構想)	乖離 (▲は不足数)
高度急性期	1,302	1,449	588	861
急性期	2,210	1,815	1,674	141
回復期	1,072	1,179	1,836	▲ 657
慢性期	1,082	918	863	55
分類なし	156			0
和歌山圏域 計	5,822	5,361	4,961	400

(注) 回答の無かった1医療機関は含んでいない。

今後の役割・方向性別の2025年病床数見込み

今後の役割・方向性	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	計
【A】救急拠点型（重症患者の救急受入れ、高度・専門医療など）	1,441	404	60		1,905
【B】救急拠点型（年間100件以上の入院を要する救急患者受入れ）	8	827	326		1,161
【C】地域密着型（軽症患者の救急受入、急性期病院からの転院受入、在宅復帰へ向けた医療など）		429	774	401	1,604
【D】療養病床を有する医療機関		21		438	459
【E】特殊な医療機能に特化した医療機関（産科、精神科、障害者医療など）		134	19	79	232
和歌山圏域 計	1,449	1,815	1,179	918	5,361

(注) 回答の無かった1医療機関は含んでいない。

No. 3 病床機能分化・連携に向けた取組状況

	医療機関数
① 病床機能・病床数の見直しを実施済	13
② 病床機能・病床数の見直しを実施する予定	12
③ 複数医療機関による統廃合を検討中	2
④ 地域医療連携推進法人の設立を検討中	2
⑤ 検討の結果、現行の病床機能や役割から見直す必要はない	34
⑥ その他	3
無選択・無回答	2

地域医療構想にかかる具体的対応方針の今後の進め方について

(1) 再度、今後の方針についてアンケートを実施

質問項目（案）

- ・ 今後担う予定の役割
- ・ 2025年における機能別の病床数 など

アンケートの結果は、医療機関ごとの病床数も含め全項目を次回調整会議でお示しする予定

(2) アンケートの結果を受け、以下の医療機関から対応方針を確認

対象機関と確認時期

- ・ 地域医療構想を策定した平成28年5月以降で不足する医療機能への転換、病床の廃止を行った医療機関、又は今後の計画が具体的に決まっていますと発表できる医療機関
- ・ 次回（令和5年2月～3月開催予定）の調整会議で確認

(3) (2) 以外の医療機関

対象機関と確認時期

- ・ 平成28年5月以降で不足する医療機能への転換や病床の廃止を行っておらず、今後も現状維持を予定する医療機関（今後の対応について検討はしているものの、具体的な計画がない医療機関も含む）
- ・ 来年の夏（令和5年7月～8月予定）の調整会議で説明していただいた上で確認

注）公立病院は、厚生労働省医政局長通知（R4.3.24付け）に基づき「経営強化プラン」を策定後に協議する